

令和5年度事業計画

新型コロナの感染拡大から3年が経過しましたが、未だに感染収束に至らず、令和4年度についても第6波～8波へと感染の流行が続きました。今後についてもこの間の積み重ねてきた知見や経験により、感染拡大防止と社会経済活動の両立を進めていくこととなります。

そのような中、東京都の高齢化率は22.7%となり、全国平均よりも低い水準であるものの、徐々に高齢化が進行していくと予想され、令和17年には25.0%となり約4人に1人が65歳以上となることが推計されています。

当センターでは、令和4年度、設立45周年記念式典を挙行了しました。また、コロナ禍により開催を断念していた地区全員交流会を3年ぶりに開催しました。5地区それぞれで工夫を凝らした交流会を会員の企画運営のもと開催することにより、会員交流の重要性をあらためて実感しました。

令和5年度は、第六次中期計画に揚げた柱のひとつ「会員の連携と交流の促進」実現のため、新たな会員交流の場「Lの会」の立ち上げに努めてまいります。

また、令和5年度につきましても引き続き、第六次中期計画に基づき、「会員増強」・「就業の拡大」・「安全就業の徹底」・「広報・普及啓発活動の強化」・「会員の連携と交流の促進」を五つの柱として、さらなる会員増強、請負契約や派遣契約の受注拡大を目指します。

シルバー人材センターは、人生100年時代を見据え、シニア世代が就業を通じ地域社会へ貢献することや、生きがいや居場所づくりを提供することなど、重要な役割を担っており、会員のより充実した生活のため、さらなる取組強化に努めてまいります。

今後も関係機関、公共・民間事業所、市民の皆様のご理解ご支援をいただきながら、公益社団法人としての適正な事業運営を推進していく所存です。

I 基本方針

- 1 シルバー人材センター事業の意義を地域に広く周知するため、効果的な普及啓発活動を推進します。
- 2 会員による勧誘など、高齢者の加入促進に努め、会員増を図ります。
- 3 様々な広告媒体を活用し、多種多様な就業の確保と拡大を図ります。
- 4 就業に必要な基礎知識及び技能の向上に資する研修を行います。
- 5 就業に関する待遇改善及び後継者育成の研修を行います。
- 6 就業率の向上を図るため、就業相談及び調査研究を行います。
- 7 安全就業基準を遵守し、傷害事故及び賠償事故の根絶を目指します。
- 8 就業機会の公平性の確保と適正就業の推進に努めます。
- 9 地域の一員として、ボランティア活動等の地域社会活動に積極的に参加し、生き生きとした地域づくりに貢献し、地域からの信頼を高めます。

Ⅱ 事業実施計画

1 組織運営と活動

「自主・自立」の理念のもとに、理事会を始め、部会・委員会等の活性化を図り、全員参加による地区班・職群班活動の組織的運営を目指します。

会員自ら「会員の勧誘」及び「就業の拡大」に取り組むとともに、地区班は、より地区会員との情報共有化、交流に取り組んでまいります。職群班は班会議等を開催することで班員の活性化に努め、班員の安全就業を徹底し、適正な就業を推進します。

また、「スマイルポイント」スタートから2年が経過し、効果検証を行い、さらなる会員によるセンター事業への参加促進に努めてまいります。

2 普及・啓発、広報活動

会報、チラシ・ポスターの発行をはじめ、ホームページや市報「ちょうふ」の活用や公共施設窓口等へのリーフレットの配架、市役所市民課等の窓口封筒や調布市暮らしの便利帳や調布市総合インフォメーション広告によるPR、役職員による積極的なPR活動、LINE広告、シアタス調布のシネアド広告等、広く市民や事業者等にセンターの活動について、周知・広報を行います。

会報「働くよろこび」においては、「センター」「会員」「地域」をつなぐ役割として、さらなる紙面の充実を図り、センターの活動内容の発信に努めてまいります。

また、会員の多種多様な趣味、生涯学習の取組みの発表の場として「会員作品展」を開催し、会員交流の促進やセンターの活動内容の市民向けPRの充実に取り組みます。

3 会員増強と就業拡大

就業を希望するシニア世代を対象に、定期及び臨時入会説明会の開催、WEBを活用した「オンライン入会」により、会員増強に努めます。また、仕事と就業ニーズのミスマッチを防ぐため、職群班の活性化を図り、受注拡大及び技能の向上を目指すとともに、未就業会員の就業相談等を実施し、就業拡大につなげていきます。

また、技能職種については、高齢化による後継者不足や就業者不足の解消を目的に、技能職種希望の新入会員等を募集し、研修会を実施します。

4 就業の開拓と提供

家庭・企業や公共団体等にセンター事業のPRを行うとともに、就業開拓専門員を設置し、新しい多様な分野の就業の開拓を行い、就業の促進に努めます。

5 独自事業の継続

独自事業のパソコン教室、語学教室（英会話・中国語）、学習教室、リサイクル事業及び刃物研ぎについて、継続して事業検証、推進に努めます。また、新規事業についての取組

も積極的にを行います。

6 情報の収集及び提供

国や東京都、全国シルバー人材センター事業協会、東京都シルバー人材センター連合や第7ブロック等の動向を的確に把握し、会員等に情報提供を行います。

また、「発注者（顧客）満足度調査」や「就業希望調査」を行い、発注者の意向や会員の希望をきめ細かく把握し、適切な就業につなげます。また、会員情報更新のため、全会員を対象に調査を行います。

さらに、メール情報配信サービス「Smile to Smile」・「SMS」の活用を推進し、センターとして、デジタル化に取り組んでまいります。

7 安全就業への意識啓発

第六次安全対策基本計画に基づき、会員の日頃の健康維持と就業の安全の確保及び事故防止のため、安全啓発用チラシ、安全ニュース、安全グッズ等を配布し、安全意識の啓発を行うとともに、就業時の安全点検を実施します。

また、健康維持に関するストレッチやウォーキング研修、熱中症対策等の研修を実施し、会員が健康を維持し、安全に就業できる環境の構築に努めてまいります。

8 地域貢献活動

シニア世代の就業による健康、生きがいはだけでなく、多摩川クリーン作戦や調布市福祉まつりへの参加、京王線駅前清掃など、幅広い地域貢献活動を展開します。

9 会員の連携と交流の促進

地区全員交流会の再開や会員連携、交流の場の充実に努め、新たに会員交流促進の場「Lの会委員会」の運営に取り組んでまいります。

10 サテライトルームの利用促進

シニア世代の地域活動の拠点として、会員増強、就業相談、会員交流など、多目的な施設運営、土日夜間など利用時間などの拡大に努めてまいります。